

不育症治療受診等証明書

下記の者については、流産・死産の既往が2回以上あることから、不育症の検査及び治療を行いました。つきましては、保険適用外の医療費を下記のとおり領収したことを証明します。

年 月 日

医療機関の名称及び所在地
主治医氏名

医療機関記入欄（主治医が記入すること）

（ふりがな） 受診者氏名	（ ）	生年 月日	年 月 日（ 歳）
今回の治療期間（※1）	年 月 日 ～ 年 月 日		
領収金額合計 （※2）	¥ _____ 円（※3の合計と一致すること）		

※1：治療期間については、当該年度の4月1日から、当該年度末の3月末までを対象とします。左記期間内の治療期間を記載してください。治療が終了していても構いません。

※2：領収金額の一致する治療期間内の領収書を別途添付してください。

院外処方等で、別途費用が発生する場合は、薬局において「不育症治療支援事業受診等証明書（薬局用）」を作成することとなりますので、当該費用の記載は不要です。

【実施した保険適用外の検査及び治療】

区分	項目	実施の有無	金額（※3）
検査 （一次スクリーニング）	抗リン脂質抗体	抗カルジオリピンβ ₂ グロブリンI（CLβ ₂ GPI）複合体抗体	
		抗カルジオリピン（CL）IgG抗体	
		抗カルジオリピン（CL）IgM抗体	
		ループスアンチコアグラント	
	夫婦染色体検査		
検査 （選択的検査）	抗リン脂質抗体	抗PEI gG抗体（抗フォスファチジルエタノールアミン抗体）	
		抗PEI gM抗体（抗フォスファチジルエタノールアミン抗体）	
	凝固因子検査	第XII因子活性	
		プロテインS活性又はプロテインS抗原	
		プロテインC活性又はプロテインC抗原	
	APTT（活性化部分トロンボプラスチン時間）		
検査	絨毛染色体検査		
治療	低用量アスピリン療法		
	ヘパリン療法（ヘパリン在宅自己注射法を含む。）		

不育症治療受診等証明書（薬局用）

下記の者については、主治医の処方に基づき、不育症の治療に係る保険適用外の薬剤費を下記のとおり領収したことを証明します。

年 月 日

薬局の名称及び所在地
代表者名

薬局記入欄

(ふりがな) 氏名	()	生年 月日	年 月 日 (歳)
領収月日(※1)	年 月 日 ~ 年 月 日		
領収金額合計 (※2)	¥ 円 (※3の合計と一致すること)		

※1：領収月日については、当該年度の4月1日から、当該年度末の3月末までを対象とします。左記期間内の領収期間を記載してください。治療が終了していても構いません。

※2：領収金額の一致する領収期間内の領収書を別途添付してください。

【処方した保険適用外の薬剤費】

区分	項目	実施の有無	金額(※3)
治療	低用量アスピリン療法		
	ヘパリン療法（ヘパリン在宅自己注射）		